

## 文献紹介

### 関連雑誌の特集

医学図書館. 2008;55(2)

特集：24時間開館

- 宮崎大学附属図書館医学分館における24時間開館
- 富山大学附属図書館医薬学図書館の特別利用
- 浜松医科大学附属図書館の特別利用制度(24時間開館)
- 滋賀医科大学附属図書館における24時間開館
- 東海大学附属図書館伊勢原図書館の24時間開館その後
- 24時間開館：静岡県立静岡がんセンター医学図書館の場合

薬学図書館. 2008;53(2)

特集：なし

- 図書館は未来を拓く：薬学研究教育者からの期待
- 日本薬学図書館協議会の現状分析
- 薬事行政関連における権利制限の動向

- 2008年OCLCの戦略、新サービスの概観
- 電子ジャーナルサービスでのリンクリゾルバの有効利用について
- Adis Clinical Trials Insight Web版の有効性
- 図書館内での水分補給：利用者のマナー
- 図書館における飲食マナーアンケート集計報告および分析

ほすびたるらいぶらりあん. 2008;33(2)

特集：臨床研修医制度を考える

- 臨床研修と図書館
- 臨床研修制度と情報化における新しい時代の波
- 研修医の立場から(1)
- 研修医の立場から(2)
- 研修医向けオリエンテーションの事例報告—中部労災病院の事例を中心に—
- 卒後臨床研修評価機構による臨床研修プログラムを中心とした第三者評価受審
- 臨床研修必修化対応支援事業からの報告

### 図書館

24時間開館：静岡県立静岡がんセンター医学図書館の場合

山崎 むつみ

医学図書館. 2008;55(2):156-60.

24時間開館をすることで起こる無断持ち出しは、その多くが後に返却されているという事実には、なぜ病院図書館があるのか、根本的な問題として利用者に知らせる必要性を、著者は痛感する。

図書館内での水分の補給：利用者のマナー  
黛 崇仁

薬学図書館. 2008;53(2):144-7.

図書館内での飲食は、もはや問答無用に禁止するものではなくってきている。利用者のマナーとニーズの変容の中、現実的なルールを採用する図書館が増えてきている。

文献紹介

図書館は日本の医療を救える

山崎 誠

みんなの図書館. 2008;373:21-8.

一患者として、医療情報入手手段としての公共図書館に言及しているが、一般の患者が望む医療情報についての記述に参考になる箇所がある。

図書館職員

米国と日本における医学図書館員の認定資格制度

諏訪部 直子, 酒井 由紀子

医学図書館. 2008;55(2):112-20.

アメリカの司書制度を日本語でうかがい知ることのできる資料は案外少ないが、それを知ることによって司書がどうあるべきか学ぶことができる。

オリエンテーション

研修医向けオリエンテーションの事例報告—中部労災病院の事例を中心に

森脇 朝子

ほすびたる らいぶらりあん. 2008;33(2):100-4.

5つの病院図書館の、オリエンテーション内容が時間配分と共に示されている一覧表は、自館でオリエンテーションを行う際にきっと参考になる。

情報検索

「オンライン情報検索：先人の足跡をたどる」連載を始めるにあたって

情報の科学と技術. 2008;58(4):200-3.

病院図書館の先輩達が、昔のオンライン検索は本当に大変だったという話で盛り上がるのを聞いたが、誰かが活字にしてくれたらと思ったものである。毎号連載。

著作権

著作権法の改正動向について—図書館関係・出版関係を中心に—

山下 和茂

専門図書館. 2008;230:33-6.

こちらも「著作権を考える」という毎号の連載企画で、次号以降、「図書館複写と著作権」、「保護期間延長」、「インターネットと著作権」、「アーカイブと著作権」、「学術情報と著作権」を扱う。

- 文献の入手は、所蔵館へお申し込みください。
- 「情報の科学と技術」は協議会で購読しています。
- 興味ある文献を分かちあいましょ。参考になる文献がございましたら、会誌編集部までお知らせください。